

磐城時報

編輯 石城郡平野町野田 弘成
印刷 石城郡平野町野田 弘成
發行所 石城郡平野町野田 弘成
電話 二四三
郵便 石城郡平野町野田 弘成
廣告料 一行十四字 五拾錢
日刊 (日曜、祭日) 休刊

けふ縣社子歛倉社前で 入營兵歡送會

秋晴れの空に 参列者力限りの萬歳

平町の入營兵歡送會は二十日午前十時から縣社子歛倉神社前で舉行した。定刻入營兵四十四名は正面に着席、之を圍んで平町有志數百名参列し、伏見町長が開會の挨拶をなした。伏見町長の修被、祭詞奏上、玉串捧奠の後伏見町長は別項の如き送辭を朗讀した。終つて來賓多數の祝辭演説あり、之に對し入營兵總代が答辭を以て萬歳を三唱し正午開會した。

入營兵左の如くである
▲仲間町 佐藤二郎 ▲横越小路 木田三雄 ▲松木茂雄 ▲二丁目 板橋芳夫 ▲鈴木新右衛門 ▲坂田千平 ▲正月町 齋藤廣 ▲白

銀町 小林重孝、澤田長四郎 ▲長橋町 野野茂雄、近内勘藏 ▲紺屋町 瀬谷新平、高木清一 ▲圓谷定一、高橋正 ▲久保町 永山一、沼田秀夫 ▲一丁目 赤津重美 ▲田町 富田雅雄、立原道夫 ▲十五丁目 岩崎達雄 ▲鎌田町 吉村榮助 ▲材木町 佐々木五郎 ▲長谷川 惣次郎、和田國雄 ▲菜花茂 ▲立町 船山孝次、馬場金一 ▲下河原 木村忠雄 ▲六間門 西潟元三 ▲三丁目 柏原英介、山田均 ▲南町 菊地二郎、織田浩郎 ▲月見町 根本弘、大竹徳義 ▲胡澤澤齋藤一、赤津勇進 ▲北日町 石川一郎 ▲研町 金成龜太郎、兼田國治 ▲番匠町 鈴木由藏 ▲古鍛冶町 藤田茂

紛擾の赤井村會

三度び流會となる 二十四日更に開會

石城郡赤井村では村長選舉問題野派六名、若松派五名互に強硬で若松派三派と草野三郎派とがな態度で妥協するに至らず二十抗争を續け、草野派では若松氏三日まで委員会で審議の上二十を同村居住民と認めぬと主張し四日更に村會を開く事になった村會に於て紛擾中である事既報の如くであるが、十九日午後二時から開會した同會に於ても草

▲平陪審員抽籤

平町陪審員候補者選舉抽籤は二十二

平警察署管内の 自動車運轉手組合 二十日發起人會

平警察署管内各町村に最近自動車激増し二百臺に達する状態であるが、之等運轉手には從來のうちの二十六名を決定するが立ての連絡機關なく統制を欠いてるたので營業上圓滑を欠き不祥事を惹起する事が往々あつたので平警察署並に營業者は運轉手組合組織の計劃をたてゝるたが、具体案が出来たので二十日午後七時から平警察署内平消防組事務所で發起人會を開き諸般の打合せをなした。十二月月中旬まで創立する等である。

伏見平町長 慰靈祭に會葬

二十一日若松第二十九聯隊留守隊の慰靈祭には平町では花環、弔旗を贈り石城郡町長、支會の長平町長伏見彦衛氏會葬するに創立する等である。

磐中四年松野君 人命救助で表彰

磐城中等學校四年石城郡好間村大彌長男吉野君(七)が押し流し字上好間字馬場前二十三番地松れ溺死せんとするのを發見後四時頃歸宅の途中増水した好救助の儀で金一封を添え表彰さ間川に同村北好間字上野吉野義れた。

入營兵を送る

送辭
惟ふに國防の要諦たる進んで他國を侵略し好んで争亂を惹起せむが爲に非ず偶以て平和を攪亂し人道を蹂躪し非道暴虐を遂げんとする者あるに及び敢然起つて破邪顯正の劍を執り内國の平和を確保榮を圖り外四海の平和を確立せむとするに在り。國防の緊要須臾も缺くべからざる所以實に茲に存すと言ふべし抑も人道を尊重し正義を擁護

▲消防手任命

平署では二十日附左の如く消防手任命した

▲豊間村
鈴木藤吉、鈴木照太郎、志賀虎吉、山野邊數吾、鈴木隆雄

▲深谷四三郎君 滿洲で負傷

平町字堤の内出身滿洲駐屯兵深谷四三郎君は此程戦争に於て負傷した旨自宅に書面あり同時に

▲江名町の底曳漁船 新舞子海岸で轉覆

石城郡江名町大字中ノ作金成岩一と會稱を改め二十二日午後一吉所有船丸は底曳網漁業に出時三十分から日本キリスト教會航の途中二十日午前二時頃石城に幹事會を開き前後の方針等を那大浦村新舞子海岸沖で激浪に遭ひ轉覆したが、船長志賀米彌外八名の乗組員の生命には別條がなかつた。

▲北野博君 十圓寄附

平町北白銀町北野博(二五)君は十九日平町役場を訪れ滿蒙の野に奮戦を續けてゐる軍人へ送つて貰ひたいと金十圓の寄附方を依頼して來たので役場では直に受諾した。

▲有聲座 世界館と改稱

平町駅前活動常設館有聲座は過般來平町田町鈴木寅次郎氏が經營する事になり内容充實を計り面目を一新してゐるが、今回館名を世界館と改めた。

▲英語研究會

濱三郡中等學校英語科研究會三十日午前十一時から平町警城中學校に於て午後二時四十分から學校に開き午後二時四十分から

▲石城の初雪

石城郡三坂、澤渡方面の山間部に去る十八日午後四時半頃雨に少量の降雪があつたが例年に比し約一週間早い。

▲無免許で馬喰

許で馬三頭を購入した上野野村大字上根本折笠吉次郎(五四)は同村酒井吉次郎外二名に轉賣した際で十七日平區裁判所で罰金二十圓を言渡された。

▲四倉町會 海面稅協議

四倉町會は二十日午前九時召集海面稅に關する件外三件を附議した。

▲感心な看護婦

出征兵に寄附
平町田町安齋醫院看護婦矢野好子、高原マツノ、鈴木チヨ子の三名は去る十八日平町役場にバツト五十個入の出征慰問品を寄附した。

▲北野博君 十圓寄附

平町北白銀町北野博(二五)君は十九日平町役場を訪れ滿蒙の野に奮戦を續けてゐる軍人へ送つて貰ひたいと金十圓の寄附方を依頼して來たので役場では直に受諾した。

▲有聲座 世界館と改稱

平町駅前活動常設館有聲座は過般來平町田町鈴木寅次郎氏が經營する事になり内容充實を計り面目を一新してゐるが、今回館名を世界館と改めた。

▲石城の初雪

石城郡三坂、澤渡方面の山間部に去る十八日午後四時半頃雨に少量の降雪があつたが例年に比し約一週間早い。

▲無免許で馬喰

許で馬三頭を購入した上野野村大字上根本折笠吉次郎(五四)は同村酒井吉次郎外二名に轉賣した際で十七日平區裁判所で罰金二十圓を言渡された。

座礁船は 離陸困難

双葉郡新山町細谷海岸に座礁した江名町第二福丸は同級から救助のために急行した發動機三艘によつて新山消防組員五百余名の應援のもとに座礁作業に従事したか船底六尺程は砂中に埋もれてゐるので少しも動かさず七日は更に江名濱から十五隻の發動機船が救済したが到底離陸の見込がないので己むなく方針を變更し十俵を積重ねて捲き上げを行ふ事となつた右につき新山消防組員の犠牲的精神によつて連日必死の活動には流石に江名漁業民も感激してゐる。

窃盗事件公判

住所不定無職鈴木伊助(三二)にかゝる窃盗事件の公判は二十一日午前九時平區裁判所で行開く。

鼻の薬チクノール
平五 山野邊藥局

湯本町 公設質屋擴張

石城郡下における庶民金融機關として中産以下の無産者に大いにその機能を發揮してゐる湯本小名濱兩町公設質屋は開業以來炭礦ならびに海濱地方で利用する者が多く社會問題として或は面白くない現象であるが一面において細民救済として一般から大いに期待されてゐるので、その徹底を圖るべく目論んで居り融通資金が幾分不足してゐる關係から明年度補助を増額されたいと縣に陳情中であり同時に貸附資金も増額の計測準備中である。

舌代

晩秋の候皆々様には益々御清榮賀上げます。扱て今般活動常設有聲座を『世界館』と改稱同時に私の經營となりました。元より斯界に無經驗の私なれど館の發展改革等に就ては朝夕心を砕いて居ります。既に伴奏器の裝置、絶對安全防火設備、映寫機の取附等其設備がたゞとして居ります。日向淺く理想的に進む多難の事であり、要するに御ひのき皆様方の御同情に俟つの外無ないのであります。何卒舊に倍し御指導と御援助の程偏に希上る次第であります。

館名改稱御披露特別興行

東亞キネマ特作大時代映畫
風流殺法陣
羅門光三郎主演 オールスター
原 駒子主演 キヤスト
東亞キネマ現代劇、九筋日報懸賞小説
椿三四郎・青木繁・岡田静江・鈴木京子 主演
大九州 行進曲 赤陽に映えて
新興キネマ超特作時代劇、押本七之助監督

妖盜奇談

市川百々之助・大亂劇

20日ヨリ
入大人小 有聲座
料場十五 改メ 世界館
熱意氣に生れ更つた世界館
電話四四六・五十八番

冬衣暴落品

新 荷 着
嶄新な大衆的なお値段
●着尺モスと本場銘仙

御婚禮衣裳 豊富に取揃へました
七五三御祝着
—(新型シヨール入荷)—

三井呉服店

平町 電話三八番
電話二八四番

レコード破りの石炭大特賣

磔城炭礦一二等炭
正味十貫匁一俵金卅錢也
「品が良く」「値は安く」をモットーとする當店は、此度超破格の格安石炭を販賣開始致します。値が安くとも品は悪くはありません。磔城炭礦の處分の大堀出物です、品物の無くならない中に御注文下さい。

御注文は

電話二二七番へ

阿部石炭商店

板硝子と鏡の御用は

電話六八〇番へ

どんな種類でも用意してあります
理髮器具。化粧品一式

芳香園理髮器具店

常磐線平驛前角
電話六八〇番

かまぼこ

折詰仕出し

御惣菜用さつま揚、吉原揚

藤市蒲鉾店

平町二丁目
電話三〇五番

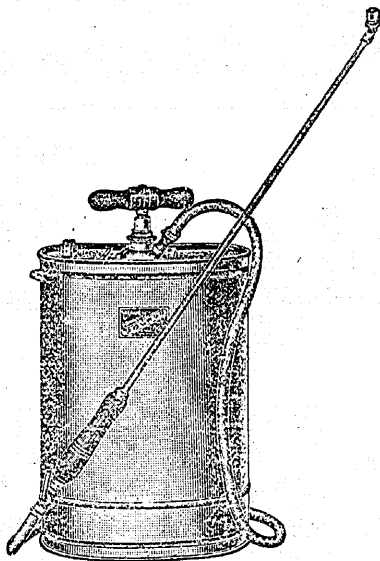
マダ御使用ニナリマセンカ

堅牢ト能率ノ上ル三公式ヲ
優秀ナル構造ト
特長アル三公式噴霧器

瓶用文化噴霧器

特價九十錢

肩掛式噴霧器
付ス一ホムゴ入布枚三
(入升五) 錢十五圓八價特



釜屋商店

平町五丁目
電話九九番

新趣に輝き

實價を誇る……大塚の運動具

各種運動具……値下げ斷行
—(各種豊富に揃いて有升)—

御用は 大塚運動具部

平・田町 電話七七番

債券、公債、兩替金融

多田井質店

平町大工町 (電話五九二番)